

# 特集

## NPO 法人かわさき歴史ガイド協会と行く

# 川崎大師で厄除け & パワーチャージ！



ご存じですか？ 川崎大師のスタンダードなお参りの作法

大山門 お寺の入口です。手を合わせて、一礼してから通りましょう。

お水屋 御本尊さまにお参りする前に、お水屋で体を浄めましょう。

献香所 大香炉で線香をお供えし、その煙を浴びて心身を浄めましょう。

大本堂 大きなお賽銭箱の前で静かに手を合わせて一礼してから、「南無大師遍照金剛（なむだいしへんじょうこんごう）」と弘法大師のご宝号を3回唱えてお願ひ事をしますが、お寺なので柏手は打たなくてかまいません。

### 参詣前に寄ってみて！ 川崎大師観光案内センター



川崎大師に関する各種パンフレット、ガイドブックや、周辺の観光案内の冊子等を配布しています。記念スタンプもあります。

電話 044-277-0757  
午前10時～午後3時  
(月曜日は休み)

京急大師線川崎大師駅南口改札を出て左側

### 真言宗智山派大本山金剛山金乗院平間寺(通称:川崎大師)

「厄除けのお大師さま」として広く知られる川崎大師。関東屈指の初詣スポットとしても全国的に有名で、訪れたことがある方も多いのではないでしょか。

開山は1128年(大治3年 平安時代)、夢のお告げに従って、海中から弘法大師の尊像を引き揚げて供養していた漁師の平間兼秉と、諸国遊化の途中に訪れた高野山の尊賢上人が一寺を建立し、「平間寺」と号して、尊像を「厄除弘法大師」と称して御本尊としました。1141年(永治元年)に勅願寺の宣旨が下され、大本堂大棟には菊花の紋章が許されています。11代将軍・徳川家斉公の厄除け祈願参拝によって、江戸庶民はじめ全国にその靈徳が広まりました。

川崎大師といえば、護摩祈祷による厄除けが有名です。お護摩には「焚く」「焼く」などの意味があり、仏の智慧(物事を正しく判断する能力)の火で煩惱を焼き尽くすことを表しています。護摩祈祷の前には、大本堂で僧侶による法話があり、どなたでも聞くことができます。

ところで、初詣は川崎大師に始まったという説があることをご存じでしょうか。江戸時代は、元日にその年の恵方社寺を参詣する恵方詣や、信仰対象の初縁日に参詣することが一般的でした。明治になって鉄道網が発達すると、人々は遠方の社寺をも参詣するようになり、鉄道会社が方角に関係ない「初詣」という言葉を使ってプロモーションをしたところ、元日に多くの参詣者が電車を使って川崎大師に来るようになりました。この川崎大師の賑わいが全国に広がり、「初詣」が定着したと言われています。

今年、2024(令和6)年は10年に一度の「大開帳奉修」です。5月の1ヶ月間、さまざまな法要、催事が集中的に行われ、この期間に限り特別な護符「赤札」が授与されます。そのご利益にあやかろうと赤札を求める参詣者で大変な賑わいとなるそうです。

川崎大師のホームページには、参詣をより充実させる情報がたくさん掲載されています。お参り前にぜひご覧ください。  
<https://www.kawasakidaishi.com>



## 数多の靈場を一氣にお参り



### 遍路大師尊像と新四国八十八力所靈場

遍路大師さまの足元のわらじに献水して健康・健脚を祈願。遍路大師さまの周りには各札所の石柱(下には各札所のお砂が埋納されている)が並ぶ。この靈場を一周することで健康・健脚・所願成就のご利益があります。



### 日本百觀音靈場お砂踏み参拝所

西国 33 観音、坂東 33 観音、秩父 34 観音、各札所の御本尊を模したレリーフが並び、その足元には各札所のお砂が埋納されています。靈場の最後には聖観音菩薩像が祀られています。

## おすすめパワースポット

川崎大師境内にはパワースポットがいっぱい！厄除けのあとにはパワースポットを巡り、今年を元気に過ごすパワーを充電！！



### 1 しょうづかの姿



お参りすると、心身ともに美人になるといわれるしょうづかのおばあさん。ご利益にあやかろうと「べっぴん守」が人気です。

### 2 力石



昔、境内で力比べに使用されていました。左二つは頭上に差し上げていた「さし石」右の三つは起こしてまっすぐに立てる「おったて石」。中央の石は「雲龍石」といって百貫(375キログラム)もあります。

### 3 元横綱北の湖銅像



赤札

第55代横綱北の湖敏満さんは川崎大師の檀家さんです。この銅像は、日本相撲協会理事長時代の威厳に満ちた姿です。

### 4 鐘樓堂の梵鐘



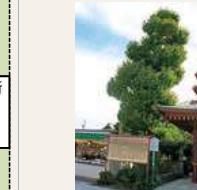
1795(寛政7)年铸造。市内に三つだけ残る江戸時代を代表する梵鐘の一つで、歴史的にも大変貴重な梵鐘です。

### 7 福徳稻荷堂



1945(昭和20)年の戦災で境内のお堂はほとんどが消失しましたが、稻荷堂は唯一難を逃れたお堂です。

### 6 奇跡の銀杏



戦火で幹の大半を焼失したにもかかわらず、奇跡的によみがえり、焼けた半分を包み込むように成長、復活した木。

### 5 八角五重塔



高さ 31.5 メートル。八角は最も円に近い形で、「包容力」「完全性」を象徴しています。第1日曜日と21日のご縁日に参拝することができます。

## NPO 法人かわさき歴史ガイド協会

今回ご協力いただいたNPO法人かわさき歴史ガイド協会は、2000(平成12)年に発足、ガイド養成講座などを受講したメンバーが78名所属し、川崎区を中心に歴史・観光のガイド活動を行っています。

川崎大師境内、川崎大師観光案内センターで拠点ガイドを行うほか、東海道かわさき宿交流館内での拠点ガイド、小中学生の総合的な学習の時間のお手伝いをする学校ガイド、行政などによるイベントのお手伝い、かわさき歴史ガイド協会で主催する企画ガイド、依頼を受けて案内する依頼ガイドなど、川崎の歴史を大切にしたさまざまなガイド活動を行っています。

電話/FAX 044-221-9117

メールアドレス [kawasaki-gaido@bz04.plala.or.jp](mailto:kawasaki-gaido@bz04.plala.or.jp)



お世話をした皆さん  
(左)増島 忠道 副理事長  
(中)梅本 誠 副理事長  
(右)中村 紀子 監事